

短 報

富山県における外国産クワガタムシ (アルキデスヒラタクワガタ) の野外での発見例

岩田 朋文

富山市科学博物館 939-8084 富山市西中野町一丁目8-31

Record of Alien Stag Beetle *Dorcus alcidides* (Vollenhoven, 1865) from Toyama City, Toyama Prefecture, Central Japan

Tomofumi Iwata

Toyama Science Museum

1-8-31 Nishinakano-machi, Toyama 939-8084, Japan

1. はじめに

アルキデスヒラタクワガタ *Dorcus alcidides* (Vollenhoven, 1865) は、インドネシアのスマトラ島に分布するヒラタクワガタの一種であり、特大個体が100 mm以上になる屈指の迫力がある種である (藤田, 2010)。本種を含む外国産カブト・クワガタ類は、1999年の植物防疫法規制緩和を受けて輸入量が急増し、日本国内でも生体を気軽に入手できるようになった (荒谷・細谷, 2010)。しかし、輸入量が急増する中で、こうした外国産カブト・クワガタ類が野外で採集される事例が増加しており、日本の生態系への影響が懸念されている (荒谷・細谷, 2010)。本種についても、山梨県 (荒谷, 2002)、岡山県 (奥島・中野, 2010)、埼玉県 (碓井, 2011)、長野県 (古賀, 2018)、神奈川県 (佐野・梅原, 2019)、新潟県 (浅野, 2020) の野外における採集例が報告されている。こうした背景を踏まえ、外国産カブト・クワガタ類は、2015年に公表された「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」で「定着を予防する外来種 (定着予防外来種)」の「その他の定着予防外来種」に選定されている (環境省・農林水産省, 2015)。

筆者は、富山県の野外でアルキデスヒラタクワガタが発見された事例を把握しているので報告する。本稿を記す先立ち、標本には富山市科学博物館標本登録番号 (TOYA-Ji) を付与した。

2. 記録

1♂, 富山県富山市婦中町下轡田, 21.VIII.2023, 小林慎採集, 富山市科学博物館所蔵, TOYA-Ji-53782 (図1)。

3. 発見時の状況

採集者の小林氏とそこご家族の皆様によると、記録個体は、民家の車庫にある水道の排水口に頭部を突っ込んだ状態で発見されたとのことである。また、発見時、この個体は生存していたとのことである。記録地点は富山市の平野部に位置し、周辺には主に住宅地と畑地が広がっている。

4. 同定

本稿で記録した個体は藤田 (2010) を参照して形態形質により同定し、(1) 体が幅広く、特に前胸背板が非常に幅広いこと、(2) 頭楯が近接した三角形上の二山状であること、(3) 大あごが太短くて中央よりやや基部寄りに大きい内歯があり、その前後に小さい内歯があることなどの特徴から、アルキデスヒラタクワガタ短歯型のオスと同定した。

5. 考察

富山県では、岩田 (2022) が外国産カブトムシの野外採集例を3例報告しているが、本稿より、外国産クワガタムシについても野外への逸出が生じていることが明示された。今回得られた情報のみでは、本稿で記録した個体の由来を特定することはできなかったが、住宅地で単独で発見されたことなどから、ペットとして飼育されていた個体の逸出や飼育放棄などが要因である可能性が考えられる。

外国産クワガタムシが野生化した場合、日本在来種と交雑して遺伝的かく乱をもたらす恐れがあるほか、外国産種の寄生虫や病原菌の在来種への伝播なども懸念されており (荒谷・細谷, 2010)、富山県内でも注視する必要がある。

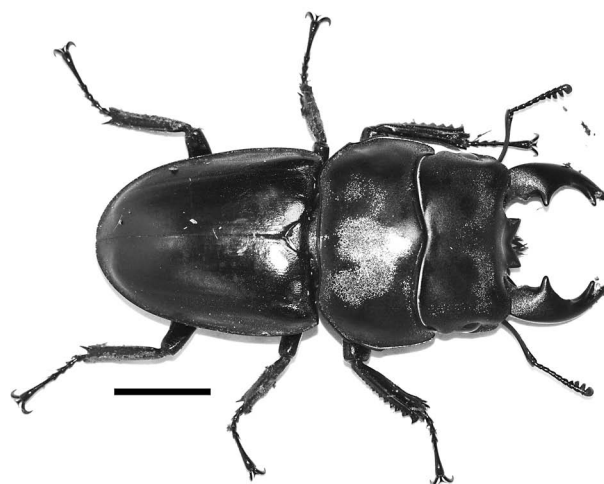


図1 富山市の野外で採集されたアルキデスヒラタクワガタ。スケールバーは10.0 mm。

6. 謝辞

本稿を記すにあたり、貴重な標本をご寄贈くださった採集者の小林 慎氏とそこご家族の皆様（富山市）、当該個体の写真を撮影して下さった清水海渡氏（富山市科学博物館）、文献入手でご協力たまわった澤田研太氏（富山県立山カルデラ砂防博物館）、佐野真吾氏（観音崎自然博物館）、岩田泰幸氏（文化財虫菌害研究所）に厚くお礼申し上げます。

7. 引用文献

- 荒谷邦雄, 2002. クワガタムシ科における侵入種問題. 昆虫と自然, 37 (5) : 4-7.
- 荒谷邦雄・細谷忠嗣, 2010. 石井 実（監修）環境Eco選書1 日本の昆虫の衰亡と保護, pp. 36-52. 北隆館.
- 浅野涼太, 2020. 新潟県立鳥屋野潟公園女池地区で確認されたアルキデスヒラタクワガタ. 越佐昆虫同好会報, (121) : 19.
- 藤田 宏, 2010. 月刊むし・昆虫大図鑑シリーズ6 世界のクワガタムシ大図鑑, 472p.+ 248pls. むし社.
- 岩田朋文, 2022. 富山県における外国産カブトムシ（アトラスオオカブト属）の野外での発見例 3 題. 富山市科学博物館研究報告, (46) : 67-68.
- 環境省・農林水産省, 2015. 我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト掲載種の付加情報（根拠情報）. https://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/list/fuka_animal.pdf [2024年 3 月 15 日参照].
- 古賀和人, 2018. 長野市内で発見された外国産カブトムシとクワガタムシ. 長野市立博物館紀要（自然系）, (19) : 13-15.
- 奥島雄一・中野一成, 2010. 岡山県で採集されたアルキデスヒラタクワガタ（コウチュウ目, クワガタムシ科）. 倉敷市立自然史博物館研究報告, (25) : 71-72.
- 佐野真吾・梅原遼平, 2019. 神奈川県横浜市におけるアルキデスヒラタクワガタ *Dorcus alcides* の記録. 観音崎自然博物館研究報告たたらはま, (23) : 28-29.
- 碓井 徹, 2011. 博物館に寄せられた注目すべき昆虫の記録 (4). ニュースレター漕, (15) : 4.